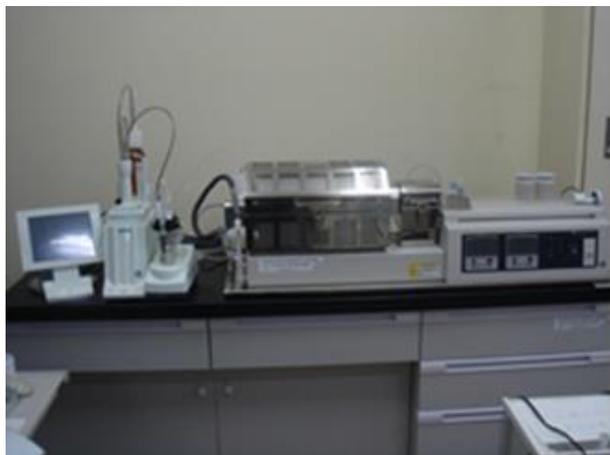


自動滴定装置(塩素分析)



設置 年度	2021年度
型 式	COM-A19
製 造 所	(株)HIRANUMA
仕 様	<ul style="list-style-type: none"> ・電位差滴定による自動測定 ・複合電極による塩化物イオンの滴定 ・最小滴下量:0.00125mL以下(20mLビュレット使用時) ・正確率:±0.1%以内 ・繰り返し精度:0.01mL以内(20mLビュレット使用時) ・スターラー付 ・PCへのデータ移動 ・変曲点検出、設定点検出 ・濃度計算
用 途	主に、耐火物製品の使用後品中、あるいは、耐火物原料中に含まれる塩素の定量分析

水分測定装置(カールフィッシャー)



設置 年度	2012年度
型 式	MKA-610
製 造 所	京都電子工業(株)
仕 様	<ul style="list-style-type: none"> ・測定方式:カールフィッシャー容量滴定方式 ・測定範囲:0.1~500 mgH₂O ・滴定フラスコ方式:電気炉(気化装置)と連結可能 ・自動ビュレット容量:10~25 ml ・低高温併用炉:低温加熱温度:70~130 °C以上、高温加熱温度:250~1000 °C以上 ・計測制御:オンライン自動制御、自動測定・印字が可能
用 途	試料中の水分を測定する装置である。低温炉(通常110 °C)中に試料を入れ、乾燥空気を送りながら、装置本体の吸収瓶(吸収液)に試料から蒸発した付着水を吸収させ、カールフィッシャー試薬を自動滴定して付着水分量を求める。次に、試料を同じ炉の高温炉(800~1000 °C)に移し、同様にして結晶水を求める。